

にのみやまちとしょかん 図書館だより

第38号



特集

図書館利用のマナー ~声、音について~

二宮町図書館は、赤ちゃんからお年寄りまで幅広い年齢層の方が利用する公共施設として、多くの方々に利用されています。利用者のマナーについては開館当初からさまざまなご意見をいただいております。なかでも声や音に関するご意見は数多く寄せられています。利用者が多いため、図書館利用の考え方も本当にさまざまです。

今回の特集では、とくに声や音について実際に寄せられた声と図書館としての対応の現状をお伝えします。

利用者から寄せられた声から

- ・利用者マナー（私語、携帯電話等雑音防止の徹底）向上を望む。
- ・私語がうるさいことがある。職員の方はあまり注意をうながしてくださらないようなので気になります。
- ・利用者の話し声（親子の会話など）がうるさい。 ・騒がしい人たちに注意してほしい。

図書館利用者アンケート（平成 19 年 7 月実施） 図書館利用者の声（平成 19 年度）より

声や音に関しては、騒音としてのとらえ方の個人差が大きい上に、その時その時の状況によってもかなり違いがあります。そのため図書館では他の利用者の迷惑になっていないかということ、注意するひとつの判断基準にしています。小さい子どもの声については、大きな声、長く続く、泣き声等の場合は保護者の方に声をおかけしています。多少の親子の会話程度のものではあそばすぐには注意しません。図書館という場での親子のコミュニケーションは大事にしたいとの思いからです。また、様子を見るのも注意の範囲だと考えています。

館内のマナーポスターの一例



携帯電話の通話は
所定の場所で

図書館では
静かにしましょう

ただ、このように声をおかけしている中で、「公共の場におけるマナー」に対する考え方、捉え方の差に戸惑うことが増えています。図書館内では「他の利用者に迷惑をかけない」で「静かに利用する」ということを、あまり意識されることなく来館されている方がいらっしゃるのも残念ながら事実です。携帯電話の使用も同様で、静かに利用するという考えが希薄になってきているためか、音を出さない利用をお願いしてもご理解いただけない場合もあり、対応に困ってしまうこともあります。

また、平日と土日では状況がだいぶ違います。土日は平日の倍近くの利用がある日もあり、とくに声や音については平日と同様に気を配ることがなかなかできない現状があります。そうした中でも、できるだけ全体の雰囲気を見ながら注意を促すように心がけています。

図書館では 2009 年 1 月から館内各所に上（ ）のようなマナーポスターの掲示をはじめました。これまで図書館内での声や音に関するマナーについては利用者の皆様の良識におまかせしてきましたが、図書館の利用マナー向上を図るために、今回上記のような掲示をするとともに本紙の特集とさせていただきます。

「ここは図書館」で他の人も利用していることにお互い配慮して、気持ちよく利用してほしい、それが図書館の願いです。



1階カウンター周辺の様子
吹き抜けなので2階まで声が響きます

新しく入った本 CD DVD

2009年1～2月新着分より
(著編者/出版社/出版年月/請求記号)



本

画像
なし

『横浜タイムトリップガイド』
(横浜タイムトリップ・ガイド制作委員会
/講談社/08.9 /291.37 3)
横浜開港から現在までの150年の間に存在、
または創建された建造物を現在の地図と重ね
て紹介。現存しないもの一部は写真や図版
で対応。当時の雰囲気を楽しめます。

画像
なし

『就活のバカヤロー
- 企業・大学・学生が演じる茶番劇 - 』
(石渡嶺司・大沢仁/光文社/08.11/377.9 イ)
就活の実態は、外から見るだけではわかりません。
企業、大学、学生側のそれぞれの具体例が就活の
参考になるかもしれません。各ページ下に掲載さ
れている「はみ出し情報」も興味深いです。

画像
なし

『先生、シマリスがヘビの頭を
かじっています!』
(小林朋道/築地書館/08.10/481.7 コ)
自然豊かな大学キャンパス周辺で起こる野生
動物や飼育動物の珍事件を、動物行動学と人
間比較行動学の視点を交えて紹介。それらの
顛末から人と自然の精神的つながりを探る。

画像
なし

『バスケットボール - 強豪校の秘 練習法、
教えます! 強くなるドリル・シリーズ10 - 』
(ベースボール・マガジン社/08.11/783.1 B)
延岡学園や桜花学園など男女バスケットボール
強豪高校の練習法&トレーニングを詳しく公開。
五十嵐圭や大神雄子ら現役選手からのメッセ
ージなども掲載しています。

画像
なし

『うちのまる - 養老孟司先生と
猫の営業部長 - 』
(養老研究所/ソニー・マガジンズ/08.11/TE 645.7 リ)
養老氏と愛猫まるの写真エッセイ集。まるの愛ら
しいしぐさや姿だけではなく、養老氏のまるを
見つめる柔らかい表情にも注目。ほかに4コマま
んがや猫の骨格学の話も。

画像
なし

『カラット探偵事務所の事件簿 1』
(乾くるみ/PHP研究所/08.9/伊)
謎解き専門のカラット探偵事務所で名探偵気取
りの所長と元新聞記者の「俺」が6つの事件の謎
に挑む短編集。最後の1ページに読者の意表を突
く仕掛けがあります。

録音 CD

画像
なし

『青島広志のこれだけ!
西洋音楽史!!』
(青島広志お話/73分/740 7)
偉大なる作曲家や演奏家の、あんなコト
こんなトコ。テレビやラジオなどで独自
の音楽史を紹介している青島広志氏の
学校の音楽の授業では教えてくれない
話が盛りだくさん!

画像
なし

『中高年のための登山入門』
(岩崎元郎講師 小林千絵聞き手/76分/786 7)
最近楽しむ方が増えてきた登山。靴の選び
方からパッキングのこつ、疲れない歩き方
など、ちょっと知っていると安全に楽しく
登る事のできる知識満載です。

映像 DVD (演奏者、出演者/収録時間/請求記号)

展示テーブルから

3月の展示テーマ
コラム・コラムニストから

画像
なし

今月の紹介本
『愛の旅人 3』
(朝日新聞be編集グループ/朝
日新聞出版 /08.7/ 280.4 7)

今月の展示は、新聞や雑誌のコラムがまとめられた本やコラムニストの著
作を選びました。

3月になり、暖かな日には大切な人と「愛」を訪ねてみてはいかがでしょうか。今回紹介する「愛の旅人」は朝日新聞の土曜別刷り「be」で2005年4月から2008年3月まで連載し、さまざまな愛のかたちを紹介した3巻からなる写真紀行本です。最終章の「そうか、もう君はいないのか」では、ご存知の通り、作家の城山三郎と妻容子の愛に満ちた半世紀を追う紀行文で、城山のペンネームの由来となった名古屋の城山八幡宮の境内にある縁結びのご神木「連理木」などが紹介されています。3月22日は、城山三郎の命日。まずは、仕事場があった茅ヶ崎の近場の海から……。

こどものほんコーナーから

おすすめの一冊



画像
なし

『なんでもしゅうり
いたします』
ラーシュ・クリンティング作
備成社
'00.11
E クリ

フリッペが始めた修理屋さん。預か
ったものを何だか愉快的な物に作り変
えてしまいます。もと大工さんだった
著者のユニークな発想とコミカルな
主人公達の仕草が面白く、物作りを楽
しめ、ホットな気持ちになれるおす
すめの絵本です。

図書館発見

お仕事紹介

館内整理日

ベストオーダー
2009年 1月～2月
この期間に予約が多かった本です

【一般書 ベスト10】

- 1 悼む人 / 天童荒太
- 2 告白 / 湊かなえ
- 3 森に眠る魚 / 角田光代
- 4 利休にたずねよ / 山本兼一
- 5 ダブル・ファンタジー / 村山由佳
- 6 壺霊 上・下 / 内田康夫
- 7 「脳にいいこと」だけをやりなさい！
/ マーシー・シャイモフ、茂木健一郎訳
- 8 ガリレオの苦悩 / 東野圭吾
- 9 聖女の救済 / 東野圭吾
- 10 少女 / 湊かなえ

月に一度、月末(土日にあたる場合は翌週)に行っている館内整理。職員全員が顔を合わせられる貴重な一日です。今回はこの館内整理日に行っている主な仕事についてご紹介します。

ミーティング

新しい業務内容や共有すべき事項などを全員で確認します。その後各作業班ごとの細かい打ち合わせも行います。



電話帳の入替 (学習室内)

カウンターミニ研修

カウンターでスムーズな対応ができるよう、毎月テーマを決めてミニ研修を行っています。職員全員参加で15分程度の集中研修です。



カウンターミニ研修の様子

配架・書架整理

本がきちんと番号順にならんでいるか、全ての棚を丁寧に整理します。

督促

返却が遅れている人に対し督促状発送の準備をします。

電話帳の入替

毎月届く電話帳(平均段ボール3箱程)を入れ替えます。

その他作業

- ・展示資料の入れ替え
- ・ポスト返却資料の処理
- ・月の統計 など

糸こんにやくと ふう～ん しらたきの違い

どちらも原材料は同じ蒟蒻芋。元々の違いは形を作る順番で、板状の蒟蒻を細く切った物が糸こんにやく(主に関西)、細くしぼりだして湯に放し固めた物が白滝(主に関東)と呼ばれていました。しかし大量生産の現在では製造方法はどちらもほぼ白滝方式となり、明確な違いはなくなっているようです。

二宮ゆかりの人物

うやま ゆうじ
宇山 雄二 (文芸評論家)

宇山雄二は顔をこつんとテーブルに當て、(中略) 大いにわれわれ若い者は力まう、君も君の粘つこさで力んで力んで凄い文学という赤ん坊を生んでくれ(中略) 期せずして、あははは、と笑ひ、手を固く握り合つた。時に今夜はもう二ノ宮まで歸れんぞ、…… (「五時間の親友 - 宇山雄二氏を悼む - 」平林彪吾著(雑誌「文芸」S11.3、4巻3号)より)



宇山雄二氏(25歳頃)

宇山雄二(1905～1935 本名:宇山祐治)は、明治38年秦野で生まれました。早稲田大学を大震災のため退学後、20歳頃より文学で身を立てる決心をし、昭和2年から二宮(原田)に住むようになりました。同人雑誌「不同調」や、昭和3年頃から先輩の戸川貞雄(元平塚市長)堀木克三(文芸評論家)石田薫三(元横浜ペンクラブ会長)らと「人生派」を発行、活動の場としました。地域の文学活動にも貢献し、昭和3年8月には秦野本町小学校で文芸講演会を主催、大辻司郎らを講師に招き千人余りの聴衆を集めました。その後も、「超近代派」「現実派」を発行し、文芸評論を発表しました。昭和10年9月、大宅壮一らが審査員だった雑誌「改造」の第2回懸賞論文で「純正小説論」が1位入賞し、一躍文壇に躍り出ました。当時の日記には、受賞は夢のようで深い感謝と感激が湧き上がり、救われたような気持ちだと書かれています。

宇山は自然主義文学を信奉し、横光利一や川端康成らが主張した新感覚派と対立、「純正小説論」もそうした立場で書かれました。日本文壇の現状に即した全面的批判を試みた鋭く切れ味のよい宇山の評論には定評があり、自然主

義的な考えを文壇に再認識させることにもなりました。受賞後も、雑誌「文芸」に「文芸評論上のリアリズム」「川端康成論」など次々と発表しました。しかし、受賞の3ヶ月後、丹毒(皮膚の化膿性炎症)に急性肺炎を併発し、将来を囑望されながら数えて31歳の若さで急逝しました。

冒頭の引用は、宇山と同年に「文芸」の懸賞に当選した作家平林彪吾(1903～1939)の「五時間の親友 - 宇山雄二氏を悼む - 」の一節です。初対面の二人が文学について熱く語り合い、酒を飲み交わしたわずかな時間でお互い十年來のような親しみを持ち、平林がすっかり宇山のとりこになってしまったという思い出を語ったものです。また追悼文の中で、宇山が来年は本音を吐いた評論の力作を生むと言っていたことを語り、その夭折を惜しみました。およそ40年後の昭和53年には、二宮(中町)にあった旅館二葉館で「宇山雄二をしのぶ会」が当時の文学仲間によって開かれました。

急逝の10日前に生まれた長男の純正氏の名前は、文字通り「純正小説論」受賞の記念に命名されたものです。現在も純正氏により貴重な資料は保存され、県立近代文学館には、直筆原稿などが特別資料として保管されています。

今回の記事を掲載するにあたり、宇山純正氏(宇山氏長男、元二宮小学校校長)に、著作や写真など貴重な資料をご提供いただきました。ご協力ありがとうございます。なお4月から6月まで地域資料コーナー展示ケースにて展示を予定しています。

お知らせ・お願い

雑誌のリサイクルコーナーについて

毎月第4日曜日に開催していた雑誌のリサイクルコーナーは3月で終了します。今後につきましては決まり次第お知らせします。

わらべうたであそぼう！の午後の開始時間が変更になります

4月以降、午後の時間が15時45分の開始となります。

4月よりラディアンの駐車場料金が変わります

最初の1時間は、現行通り認証により無料ですが、その後30分経過するごとに100円が加算されます。

住所や氏名、電話番号の変更がありましたらお知らせください

住所変更の場合は新規に登録された時と同様に住所・氏名が確認できるものが必要です。変更後の保険証・免許証・自分宛の郵便物等をお持ちください。

児童書の「書庫の本紹介コーナー」を3月から始めます

書庫にある読んでもらいたい絵本や読み物などを2か月ごとに紹介します。設置場所はこどもの本コーナー入口の新刊コーナーの横です。ぜひご覧ください。

予約多数の本等の寄贈にご協力ください

所蔵資料の充実と、予約待ち期間緩和のため図書館では、次の資料の寄贈をお願いしています。

- ・予約の多い図書
(書名は図書館ホームページから確認できます)
- ・二宮町に関する資料
(二宮が舞台の作品、町民の方の著作物など)
- ・CD(DVDやビデオは受付していません)

寄贈にあたってのお願いとご注意は、館内ポスターやホームページのお知らせ一覧に掲載していますのでご覧ください。なお資料をお持ちになる前に図書館へご連絡ください。

行事

くわしくはお問い合わせください。

3月





日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

4月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

5月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

-  ちいちゃいおはなし会
第2水曜日(5月は第3水曜日)
-  おおきいおはなし会 小学生からおはなし会とおりがみあそび
第3土曜日
-  わらべうたであそぼう！
第3金曜日(3月は第2金曜日)
-  雑誌のリサイクルコーナー
第4日曜日(4月以降未定)

にんぎょうげき大会

月日 3月27日(金)
時間 午前10:30~11:30
場所 ラディアンミーティングルーム2
「ぐりとぐら」
大きなたまご(旧ぐりぐら座)
「まんまるばん」てぶくろ座

入場無料。事前申し込みは不要です。
直接会場へお越しください。

ひとつだけ ~編集後記にかえて


今、世界で次世代燃料の開発が急ピッチで進められている。1月30日に日本航空が環境に配慮したバイオジェット燃料でデモンストレーションフライトを実施した。使用したのはアブラナ科の植物カメリナ(84%)トウダイグサ科の落葉低木ジャトロファ(15%)、藻(1%)を精製したもの50%と従来のジェット燃料(ケロシン)50%を混合したものだ。これまでのサトウキビやトウモロコシからなるバイオ燃料とは違い、非食物系であるため食糧の価格高騰を引き起こす心配がなく、地球環境に極力負荷を与えず、持続性、生産効率に優れた次世代バイオ燃料だそうだ。ガソリンに代わるバイオ燃料のことは以前から興味があったが、カメリナやジャトロファについてももっと詳しく調べてみたくなった。地球温暖化防止に大いに貢献してくれることを期待したい。

編集・発行 二宮町図書館

住所 二宮町二宮1240-10

☎ 0463-72-6913

ホームページ <http://www.ninomiya-public-library.jp/>

 図書館だよりテーブ版もあります！お問い合わせください。



展示テーマ

2月 一般 / 『コンサートに行ってみよう』
児童 / 『つめた~い!』
A V / 『ミュージカルを聴く!』

3月 一般 / 『コラム・コラムニストから』
児童 / 『うたがきこえるよ』

特設展示

- 1月・・・『夜回り先生 水谷修氏著作展示』
『第140回 芥川賞・直木賞発表』
- 2月・・・『ジョン・アップダイクさんをしのんで』
『泡坂妻夫さんをしのんで』

地域資料コーナー 展示ケース

- 1~3月・・・『二宮ゆかりの人物 吉田五十八』
- 4~6月・・・『二宮ゆかりの人物 宇山雄二』

書庫の本紹介コーナー

- 1~3月・・・『江戸川乱歩賞の女流作家たち』